

お金が無いって本当？

市民のみなさんに
知ってほしい

これからの生活はどうなっていくの？

〇〇年後の西条市のために

財政状況を通して西条市の未来を考えよう

改訂版

もくじ

- 1 「財政」ってなに？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p2
- 2 予算と決算の違いはなに？・・・・・・・・・・・・・・・・ p2
- 3 歳入（収入）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p3
- 4 歳出（支出）性質別・・・・・・・・・・・・・・・・ p4
- 5 歳出（支出）目的別・・・・・・・・・・・・・・・・ p6
- 6 これまでの推移をみてみよう・・・・・・・・ p7
- 7 人口減少と一般財源・・・・・・・・・・・・・・・・ p12
- 8 公共施設の現状と今後控えている大規模事業について・・・・・・・・ p13
- 9 持続可能な西条市を目指して・・・・・・・・ p16

西条市 財務部 財政課

※本編の決算状況等については、全国統一ルールによる統計上の会計（普通会計）を使用しているため、一般会計決算と一部異なります。

ずっと住み続けたいまち、西条であるために

少子高齢化や市債（借金）の返済額の増加、継続する物価高などにより、西条市は今後厳しい財政状況が見込まれています。

将来世代に過度な負担が残らないよう、「持続可能なまち西条」の実現に向け、計画的な行財政運営を行っていく必要があります。

自分の暮らすまちの財政が健全に運営されているかどうかは、市民のみなさんの生活に大きな影響を及ぼす重要なものです。

しかし、財政というと専門的な用語が多く、市民のみなさんにとって親しみのないものになっているかもしれません。この冊子を通じて、西条市の財政状況をわかりやすくお伝えし、一人でも多くの方々に関心を持っていただければ幸いです。

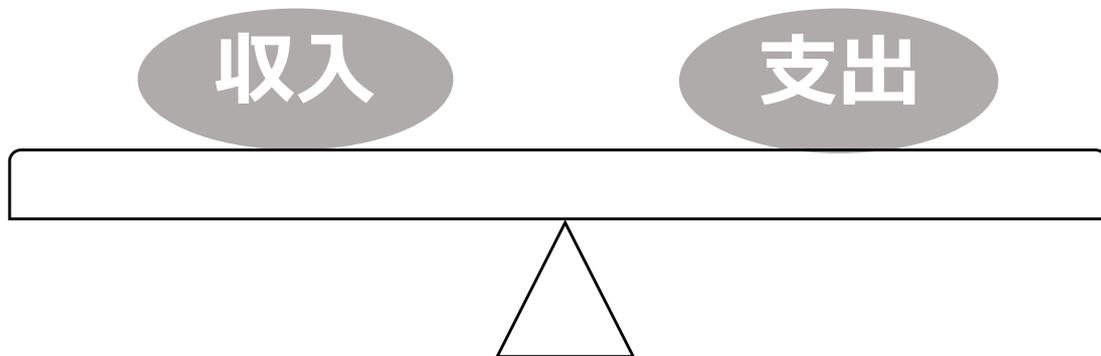


うちぬきに触れる子どもたち

1：「財政」ってなに？

市のお金の収入と支出の仕組み

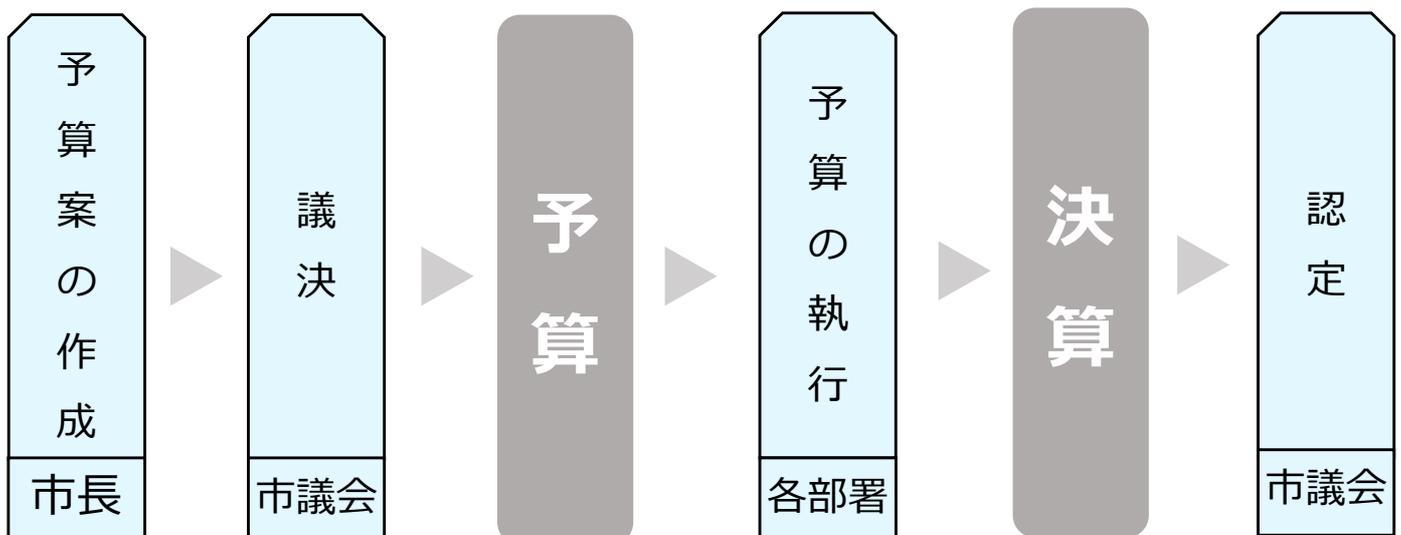
- ・市が様々な行政サービス（事業）を行うためには多くのお金が必要です。
- ・そのお金をどこから調達し（収入）、どのような目的で使うのか（支出）という仕組みを「財政」といいます。



2：予算と決算の違いはなに？

収入と支出の見込みが「予算」、予算を使った結果が「決算」

- ・毎年4月から翌年の3月までの一年を年度として、収入と支出を取りまとめたものが「予算」です。
- ・年度当初に一年間を見通して作成した予算を当初予算といい、新たに必要な費用が生じた場合などに追加等を行う予算を補正予算といいます。
- ・市長は「予算案」を作成して市議会に提出し、市議会で審議された後、議決され「予算」が成立します。
- ・予算を使った後の結果を「決算」といいます。
- ・決算は、監査委員の審査を受けたのち、市議会の審査、認定を受けます。

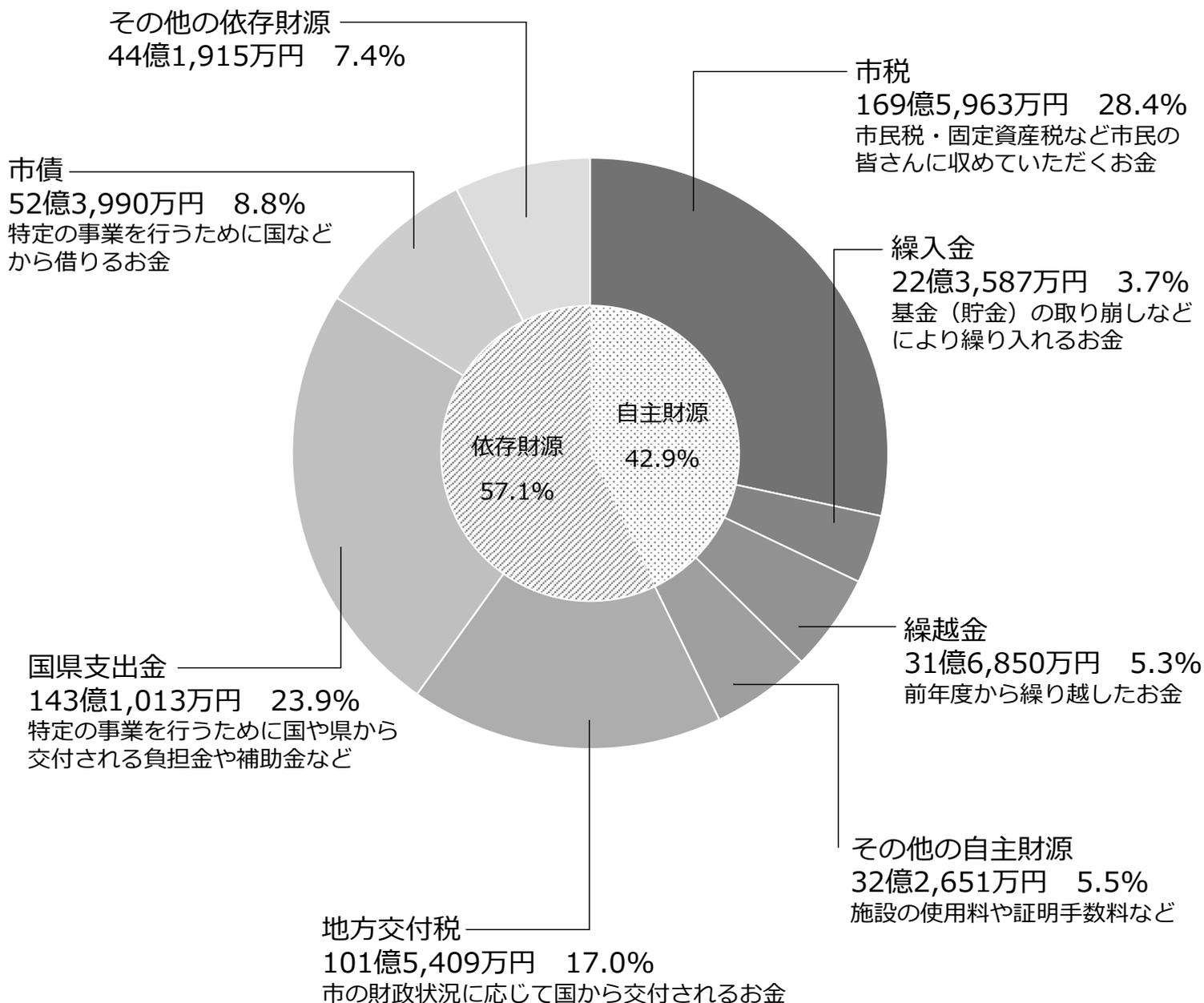


これから、令和6年度の普通会計の決算をもとに、西条市の財政について一緒にみていきましょう

3：歳入（収入）

令和6年度の普通会計（※1）の歳入は**597億1,378万円**です。

令和6年度は、令和5年度と比べて
37億4,643万円増加しました。
大型事業の実施に伴う市債（借金）の借り入れや
その他の依存財源である定額減税減収補填特例交付金
が増加したことなどが要因です。



（※1）普通会計とは

西条市の場合、一般会計（福祉や土木、教育、消防など市の基本的な仕事をする会計）に、ひうち地域振興整備事業特別会計、畑地かん水事業特別会計を合わせたものです。

4：歳出（支出） 性質別

令和6年度の普通会計の歳出は**560億2,725万円**です。

令和6年度は、令和5年度と比べて

32億2,840万円増加しました。

大型事業である東部学校給食センターの整備や
低所得世帯支援・定額減税補足給付金支給事業
による事業費の増加などが要因です。

普通建設事業費
90億4,449万円 16.2%
道路や公園、学校などの公共
施設の整備のために使うお金

特別会計、企業会計
について、5ページで
説明しています。

災害復旧費
2,308万円 0.0%
災害によって道路や農地、山林などに生じた
被害を復旧するために使うお金

繰出金
51億3,559万円 9.2%
一般会計から、特別会計へ支出
するお金

人件費
89億6,542万円 16.0%
職員の給与などに使うお金

投資及び出資金、貸付金
10億7,882万円 1.9%
財団法人や企業会計などに
対する出資金や、資金の貸し
付けに使うお金

投資的経費
16.2%

扶助費
139億7,967万円
24.9%
高齢者、子ども、障がい者、
生活困窮者などを支援する
ために使うお金

積立金
16億2,404万円 2.9%
基金（貯金）に積み立てる
お金

その他
33.6%

義務的経費
50.2% (※2)

補助費等
39億9,284万円 7.1%
さまざまな団体への負担金、補助金や
謝金・謝礼などのために使うお金
(企業会計に対する負担金、補助金も含む)

公債費
51億9,505万円 9.3%
国などから借り入れた借金の
返済に使うお金

物件費・維持補修費
69億8,825万円 12.5%
物件費は、旅費、需用費（消耗品費や光熱水費等）、委託料などに使うお金
維持補修費は、市が管理する公共施設などを維持するために使うお金

(※2) 義務的経費とは

行政サービスを実施する上で、簡単に削減することが難しい支出のことです。義務的経費には、人件費、扶助費、公債費があります。

義務的経費の割合が高くなると、自由に使えるお金が少なくなるため、まちづくりやその他の行政サービスを行うことが難しくなってきます。効率的な財政運営を心掛け経費を圧縮していくことや、市の財政規模に見合った事業を計画的に行っていくことが重要です。

特別会計や企業会計ってなに？

- ・国民健康保険税や介護保険料、下水道使用料など、特定の収入を特定の仕事に使っている事業は、お金の収支をわかりやすくするために会計（お財布）を分けています。
- ・西条市には一般会計（※3）の他に、**9の特別会計**と、**3の企業会計**があります。

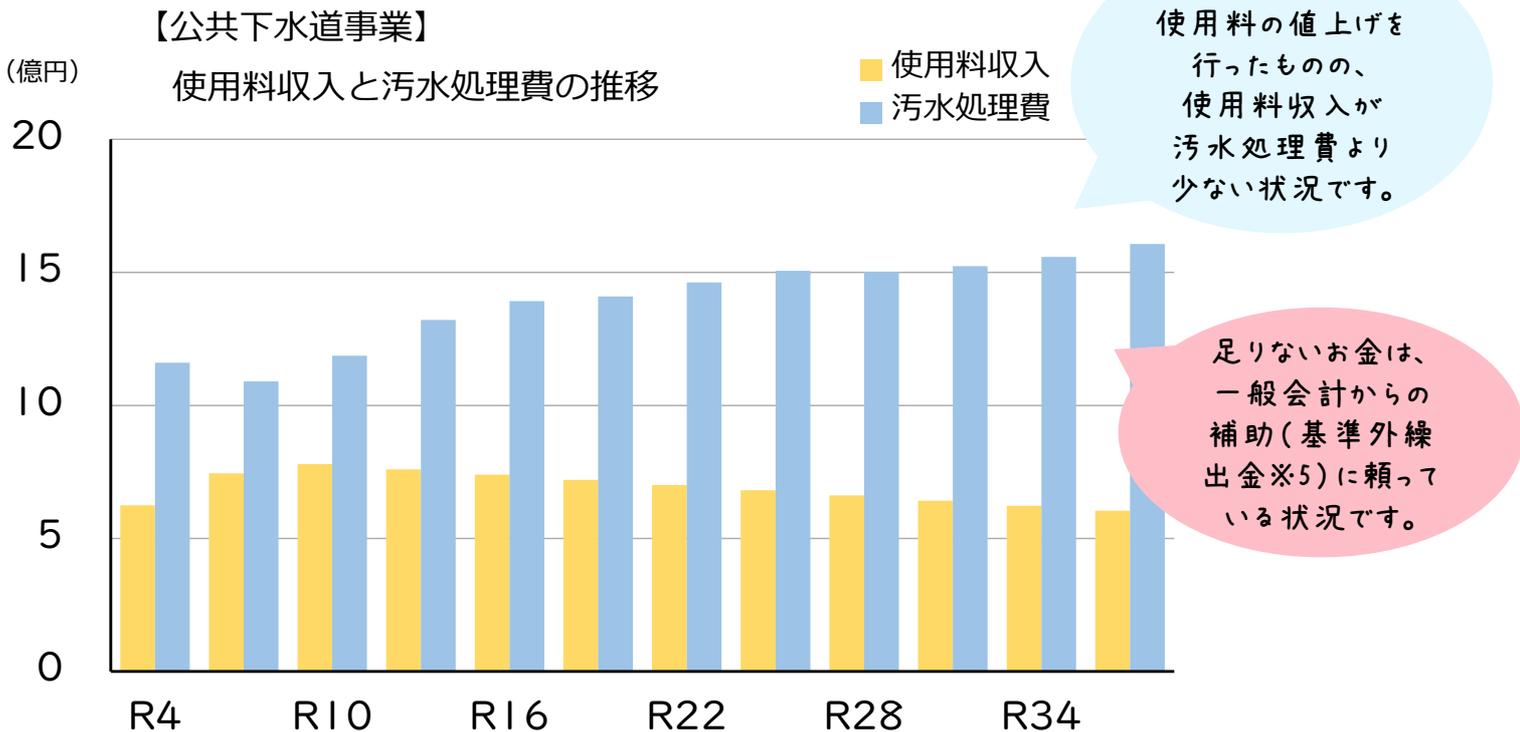
特別会計

国民健康保険	介護保険	ひうち地域振興整備事業(※4)
小松地域交流事業	本谷温泉事業	畑地かん水事業
庄内財産区	壬生川財産区	後期高齢者医療保険

企業会計

水道事業	公共下水道事業	病院事業
------	---------	------

- ・**企業会計**には、経営に必要な経費を経営に伴う収入でまかなうという、**独立採算制の原則**があります。
- ・しかし、特に下水道事業においては、これまで経営に必要な費用を下水道利用者からいただいている使用料だけではまかなうことができず、一般会計からの補助に頼ってきました。今後は、経費削減の継続や使用料の値上げなどにより、**一般会計からの補助に頼らない独立した健全な経営を目指していく**必要があります。



西条市HP 下水道業務課「西条市の下水道の現状のお知らせと今後について」に掲載されている「使用料収入と汚水処理費の推移」に、令和7年度の使用料改定、人口減少、物価高などを反映したものの。

- (※3) 一般会計は3ページで説明しています。
- (※4) ひうち地域振興整備事業特別会計は、令和6年度末をもって一般会計に統合しています。
- (※5) 令和6年度は、公共下水道事業会計に対して、一般会計から**基準外繰出金**を**総額で約9億円**支出しています。
 - ・**基準内繰出金** 国が示した**基準**により、一般会計から企業会計へ支出しているお金
 - ・**基準外繰出金** 国が示した**基準以外**で、一般会計から企業会計へ支出しているお金**一般会計から企業会計への支出が増大すると、一般会計の行政サービスにも影響が出る**ため、経費削減や使用料の見直しなどを行い、**経営に伴う収入でまかなっていく**必要があります。

5 : 歳出（支出） 目的別

支出は、どのような行政サービスに使われているのか、使い道をわかりやすく見ることができます。

市のお金を何に使ったか、
多い順に並べています。

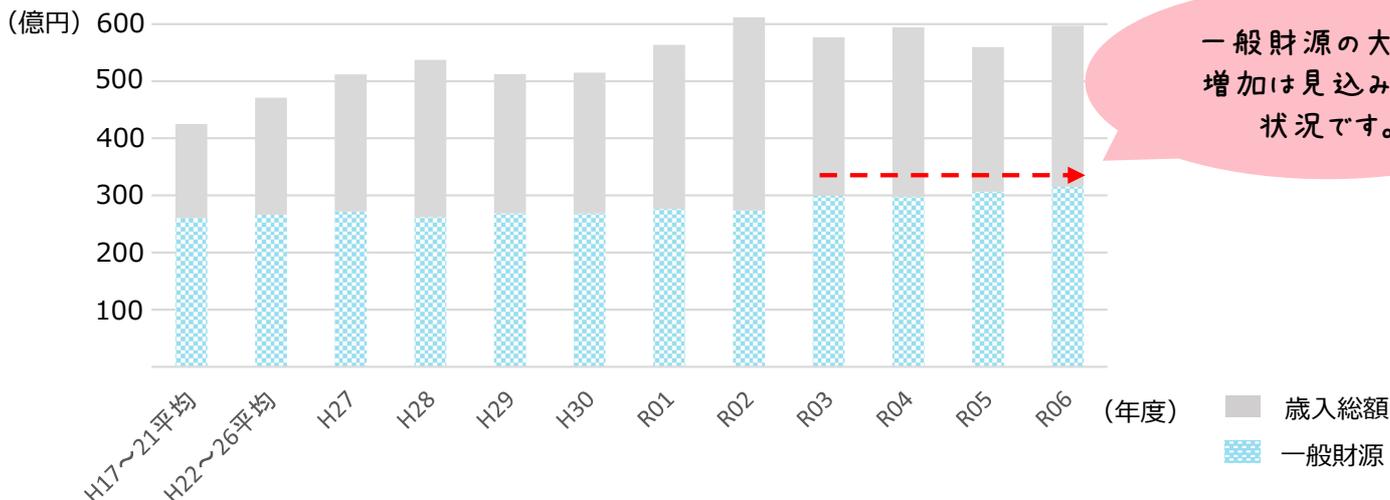
民生費	212億3,827万円	高齢者、子ども、障がい者の福祉や医療費助成など安定した社会生活を保障するために使うお金
教育費	83億6,812万円	幼稚園、小・中学校の整備、社会教育、保健体育など教育全般に使うお金
総務費	66億7,067万円	市庁舎の維持管理や戸籍、徴税、選挙、監査事務などに使うお金
公債費	51億9,505万円	借入金の返済に使うお金
衛生費	47億4,888万円	予防接種などの保健事業やごみの収集・処理などの衛生的な生活環境を保つために使うお金
土木費	47億1,156万円	道路や河川、市営住宅、公園などの整備や維持管理のために使うお金
消防費	15億7,817万円	消防活動や消防施設の整備、地域の防災などのために使うお金
農林水産業費	15億7,475万円	農林水産業の振興や、かんがい排水路、ほ場整備などに使うお金
商工費	14億1,238万円	商工業の振興や、観光施設の運営や整備などに使うお金
その他	5億2,940万円	

公債費が支出全体の
約9.3%を占めています。

6：これまでの推移をみてみよう

歳入

今後、人口減少により、一般財源(※6)(使い道を特定されない収入)の大幅な増加は見込み難い



一般財源の大幅な増加は見込み難い状況です。

- ・歳入の総額は、合併後と比較すると増加しており、令和6年度決算は過去2番目の金額となっています。歳出の財源を確保するために、国県支出金(※7)や市債などが増加しているためです。
- ・しかし一般財源は、地方交付税(※8)の増加など国の財政措置により、一時的に増加することがあるものの、今後は人口減少により、大幅な増加は見込み難い状況です。一般財源が増えなければ、新しい事業を行うための財源が少なくなります。

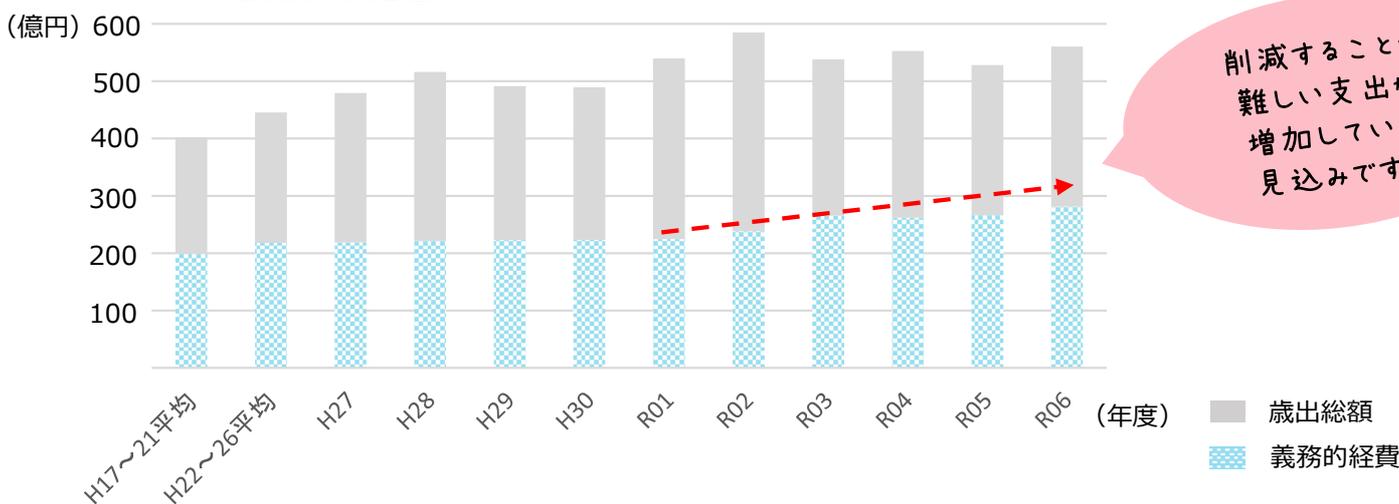
(※6) 一般財源とは、使い道を特定されない収入のことで市税や地方交付税などです。

(※7) 国県支出金は3ページで説明しています。

(※8) 地方交付税は3ページで説明しています。

歳出

今後、扶助費(※9)(福祉の充実のために使うお金)や市債の返済額、人件費の増加により、義務的経費(※10)(簡単に削減することが難しい支出)が増加する見込み



削減することが難しい支出が増加していく見込みです。

- ・歳出の総額も、合併後と比較すると増加しています。
- ・理由は、子育てや教育などの施策の充実や、道路や公園、学校などを積極的に整備してきたことなどが要因です。また、老朽化する施設を維持補修する経費が増加していることに加え、物価高や人件費の上昇なども歳出が増加する要因となっています。
- ・今後、扶助費や市債の返済額、人件費の増加などにより、義務的経費が増加する見込みです。

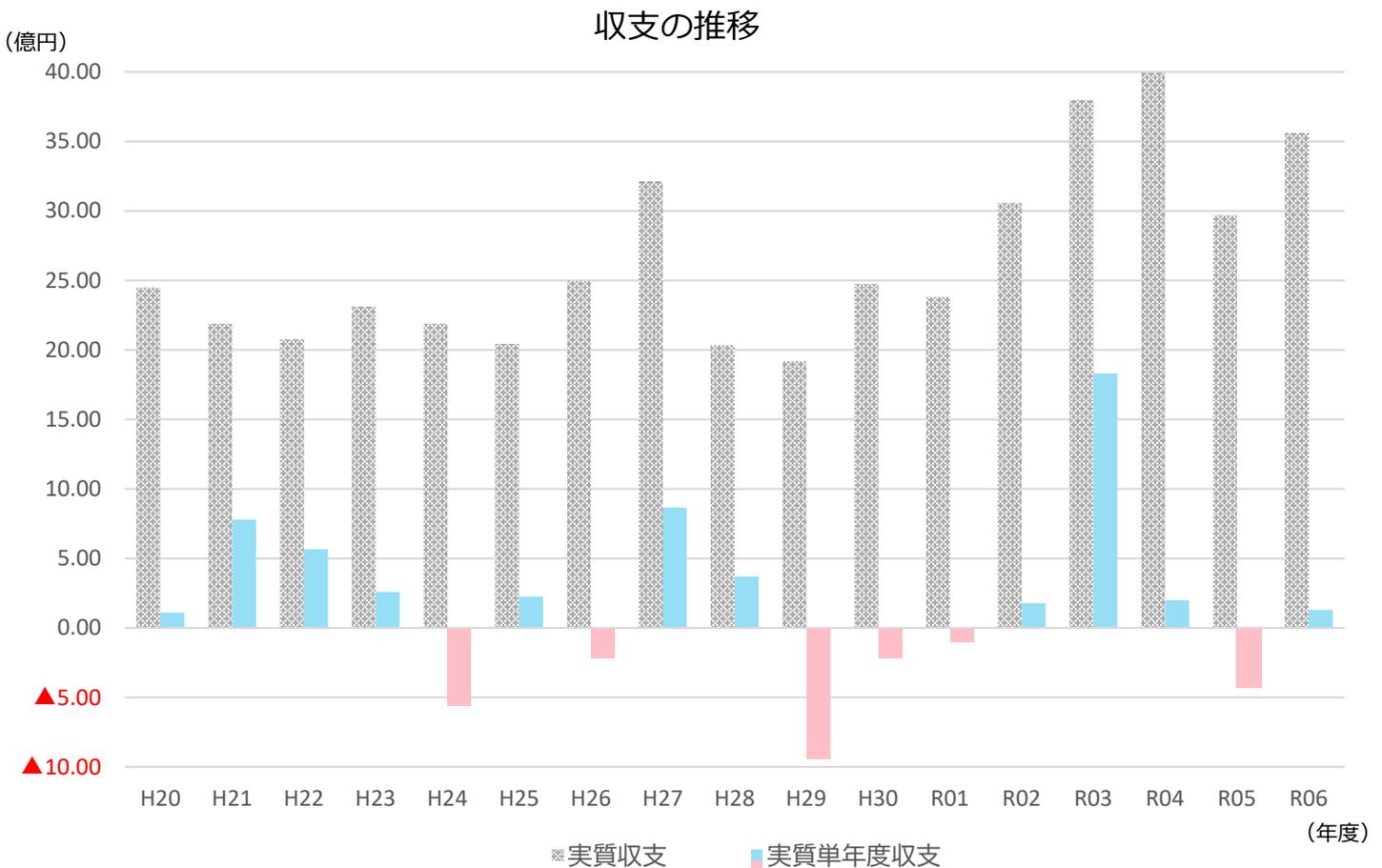
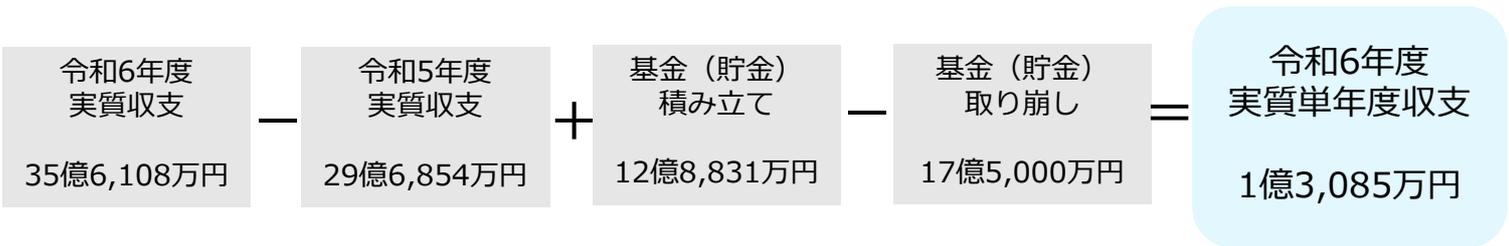
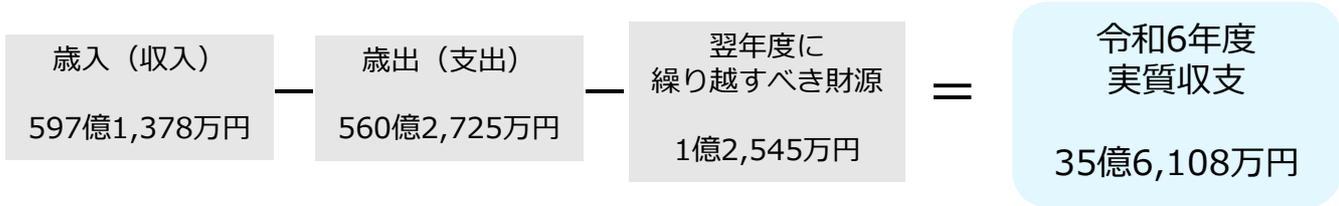
(※9) 扶助費は4ページで説明しています。

(※10) 義務的経費は4ページで説明しています。

収支（歳入と歳出の差）

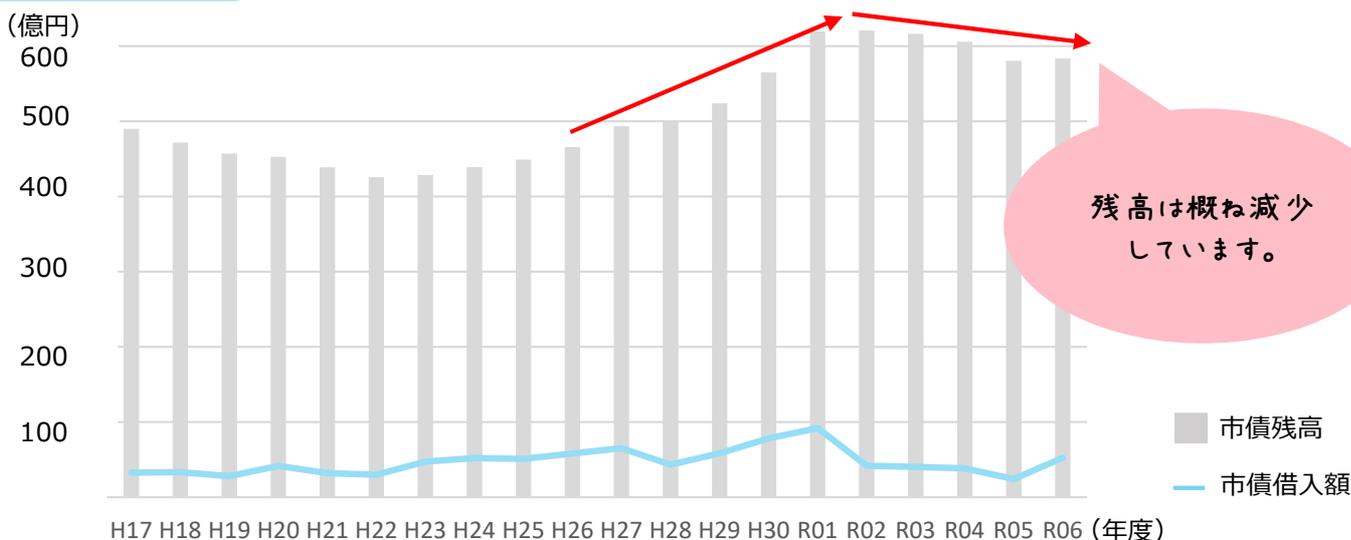
令和6年度は、実質収支も実質単年度収支も黒字

- ・歳入 > 歳出なら黒字、歳入 < 歳出なら赤字です。
- ・令和5年度の実質単年度収支は赤字でしたが、令和6年度は黒字へと転じました。
- ・大型事業などの実施により歳出（支出）が増加しましたが、市債（借金）の借り入れや国県支出金などの歳入（収入）が、歳出（支出）以上に増加したことによるものです。



市債（借金）

市の借金残高は概ね減少傾向にあるものの、高い水準が続く

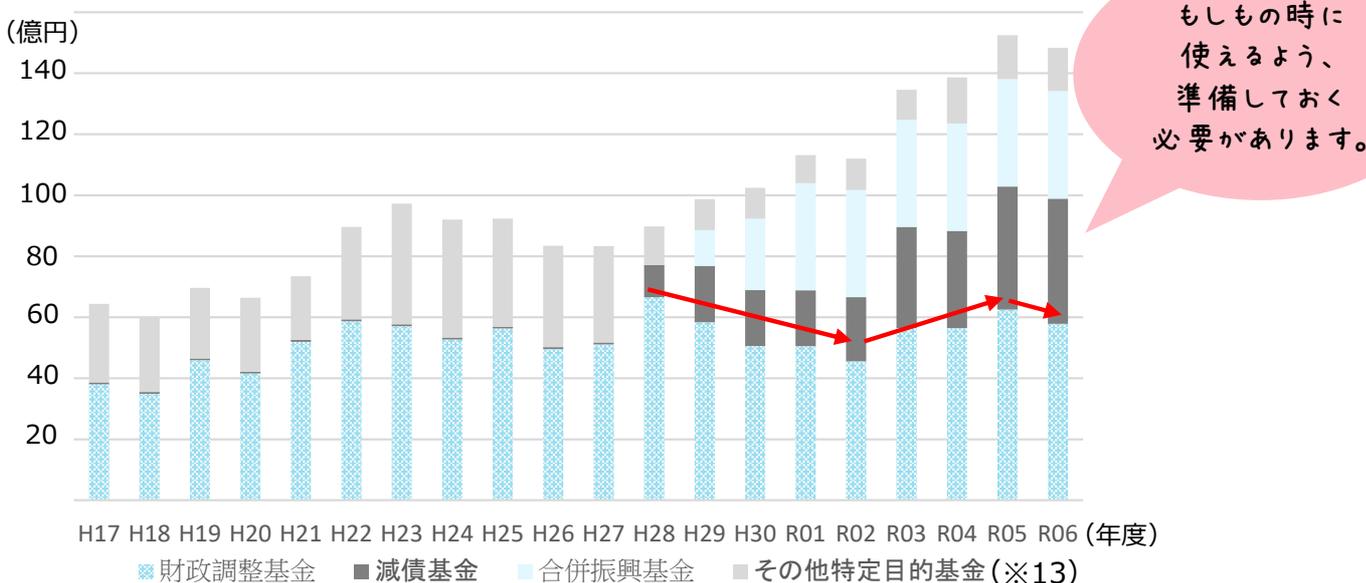


- ・市債は、施設整備などにおいて資金を調達する一つの手段で、世代間で負担を分散することができるとともに、借金ではあるものの返済の際に元利償還金（返済金）の一部が地方交付税（※11）で計算されるものもあり、全てが市の負担になるわけではありません。
- ・しかし、むやみに借金をすると、返済による義務的経費が増加するため、結果的に将来世代への負担を増やすこととなります。

（※11） 地方交付税は3ページで説明しています。

基金（貯金）

財政調整基金(※12)(もしもの時に備える貯金)の確保が必要



- ・基金全体の残高は概ね増加傾向にあります。しかしその主な要因は、市債を借り入れて合併振興基金として約35億円を積み立てたため、現在、その返済を行っています。
- ・財政調整基金は増減を繰り返しながら、一定の目標水準を維持できていますが、災害などに備えて一定額を確保しておく必要があります。

（※12） 財政調整基金 予期しない収入減や支出の増加に備えるため法律で設置が義務付けられています。

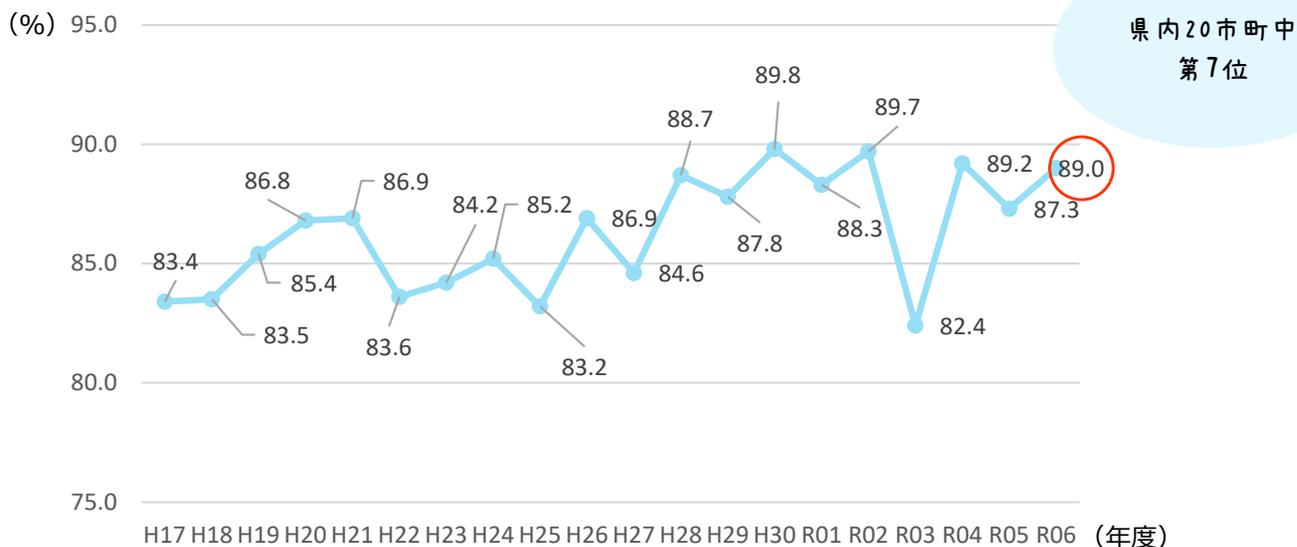
（※13） 特定目的基金 使用目的に応じて設置しており、用途が限定されています。西条市では、減債基金、合併振興基金、福祉基金、森林整備基金などがあります。

経常収支比率

今後は増加(悪化)の見込み

市の財政状況を表す財政指標の一つです。

割合が高くなると、自由に使えるお金が少なくなります。



- 令和6年度は、人件費や物件費・維持補修費の上昇などにより、割合が増加（悪化）しました。今後は義務的経費（※14）の増加と一般財源（※15）の伸び悩みから、**増加（悪化）する見込み**です。
- 指数が増加し続けると、自由に使えるお金が少なくなるため、行政サービスにも支障が出てくる可能性があります。

(※14) 義務的経費は4ページで説明しています。

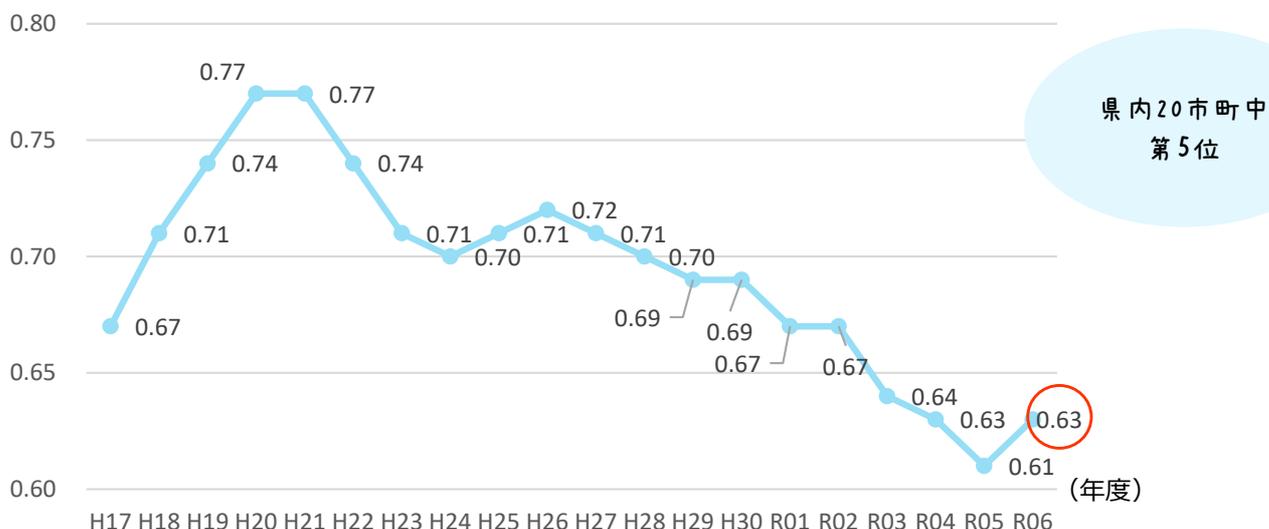
(※15) 一般財源は7ページで説明しています。

財政力指数

今後は減少(悪化)の見込み

どのくらい自力で財源を調達できているかを表すものです。

「1.0」を超える、あるいは「1.0」に近くなるほど、財源に余裕があるとされています。



- 過去には0.7台後半の時期もありましたが、市債の返済などにともない**減少（悪化）する見込み**です。

各指標の県内における順位は、令和7年12月2日現在のものです。

財政健全化判断比率

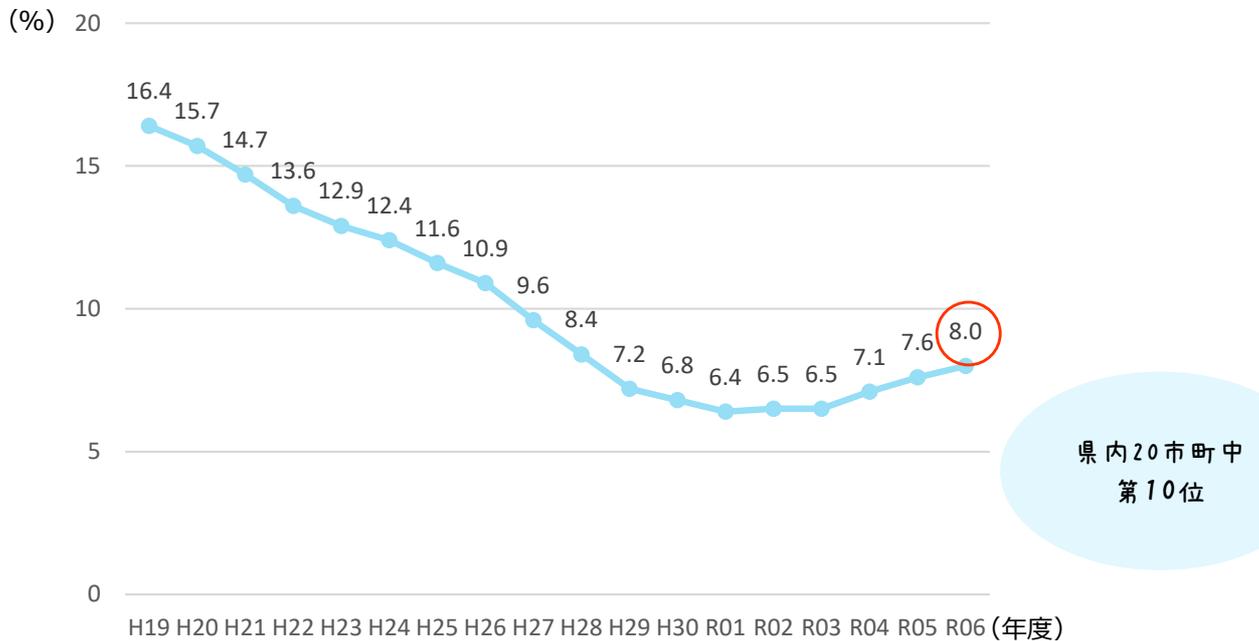
将来負担比率は減少(改善)の一方、実質公債費比率は増加(悪化)

財政の健全性を示す指標のことです。

実質公債費比率は、支出に占める借金の返済額の割合です。

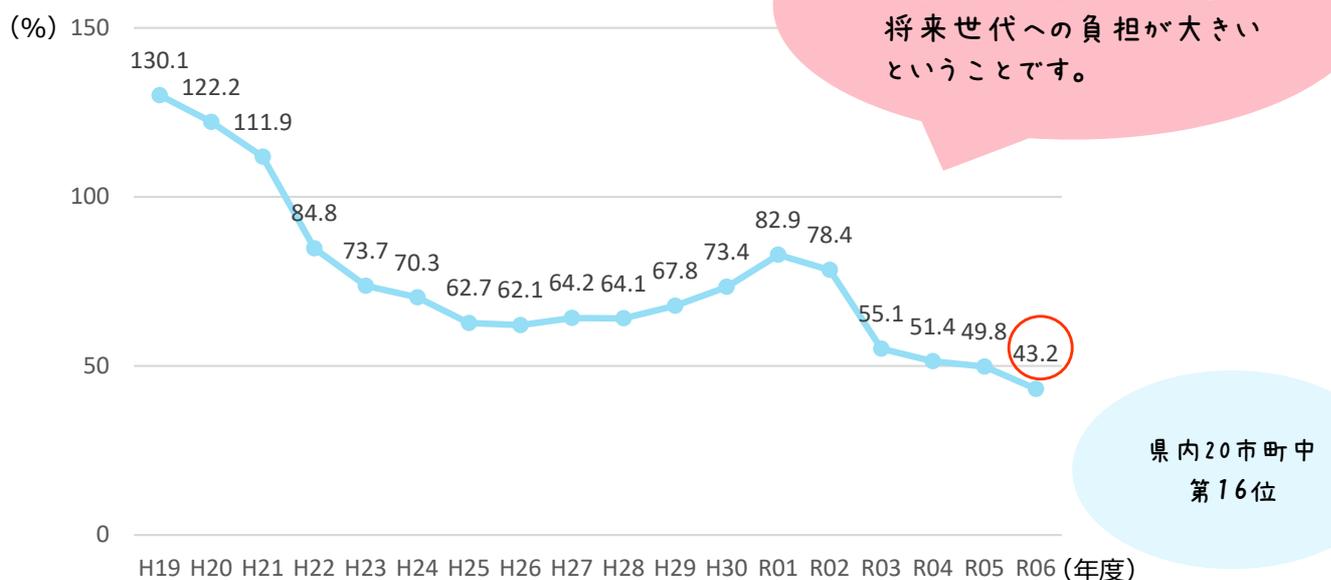
将来負担比率は、将来支払わなければならない負債の割合です。

実質公債費比率



- ・実質公債費比率について、減少(改善)傾向でしたが、令和2年度から増加(悪化)に転じています。
- ・市税などの一般財源の大幅な増加が見込めない一方、近年の大型事業の実施に伴い借り入れた市債により返済額が増加することから、今後も比率は増加(悪化)する見込みとなっています。

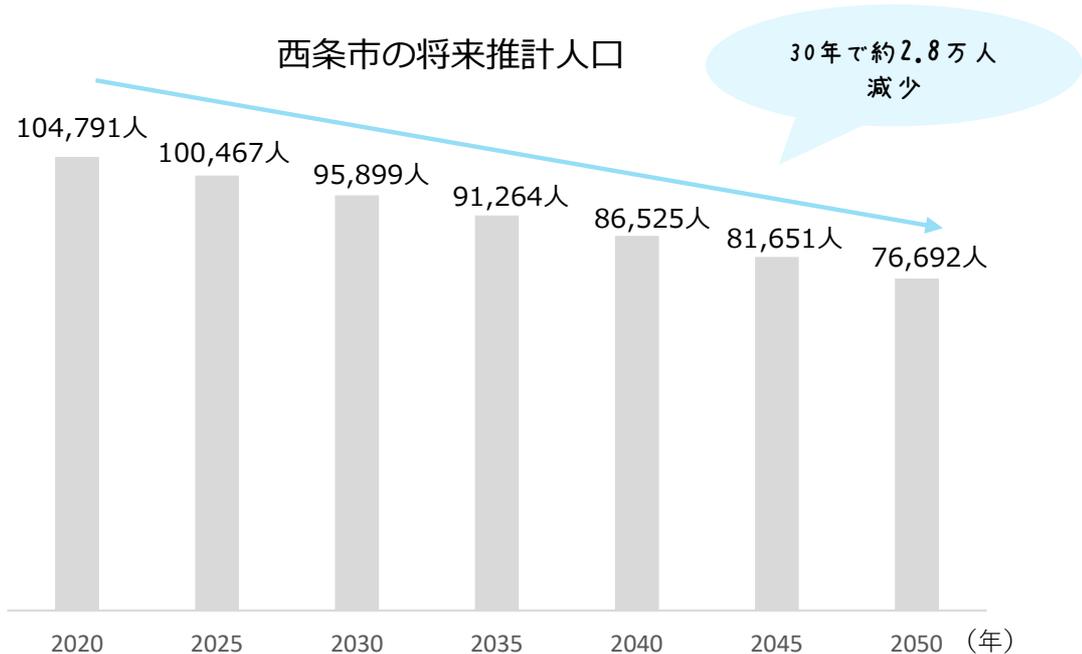
将来負担比率



- ・将来負担比率について、増加(悪化)傾向でしたが、令和2年度から減少(改善)に転じています。
- ・しかしながら、今後も大型施設の更新・整備が予定されていることから、市債の借り入れなどを抑制し、将来の負担を軽減していくことが必要です。

7：人口減少と一般財源

人口減少により市税収入が減少



- ・ 国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、24年後の2050年（令和32年）に約7.6万人まで減少すると予測されています。
- ・ 財政面からみると、納税義務者等が減少するため市税収入が減少することになります。
- ・ また、地方交付税（※16）等についても人口規模により算定される割合が大きいため、一般財源の大幅な増加は見込み難い状況です。

（※16） 地方交付税は3ページで説明しています。

人口減少により、
今後、一般財源（使い
道を特定されない収入）
の増加は見込み難いです。

扶助費（福祉の充実のために
使うお金）や市債の返済額、
人件費の増加により、削減する
ことが難しい支出の割合が、
今後増える見込みです。

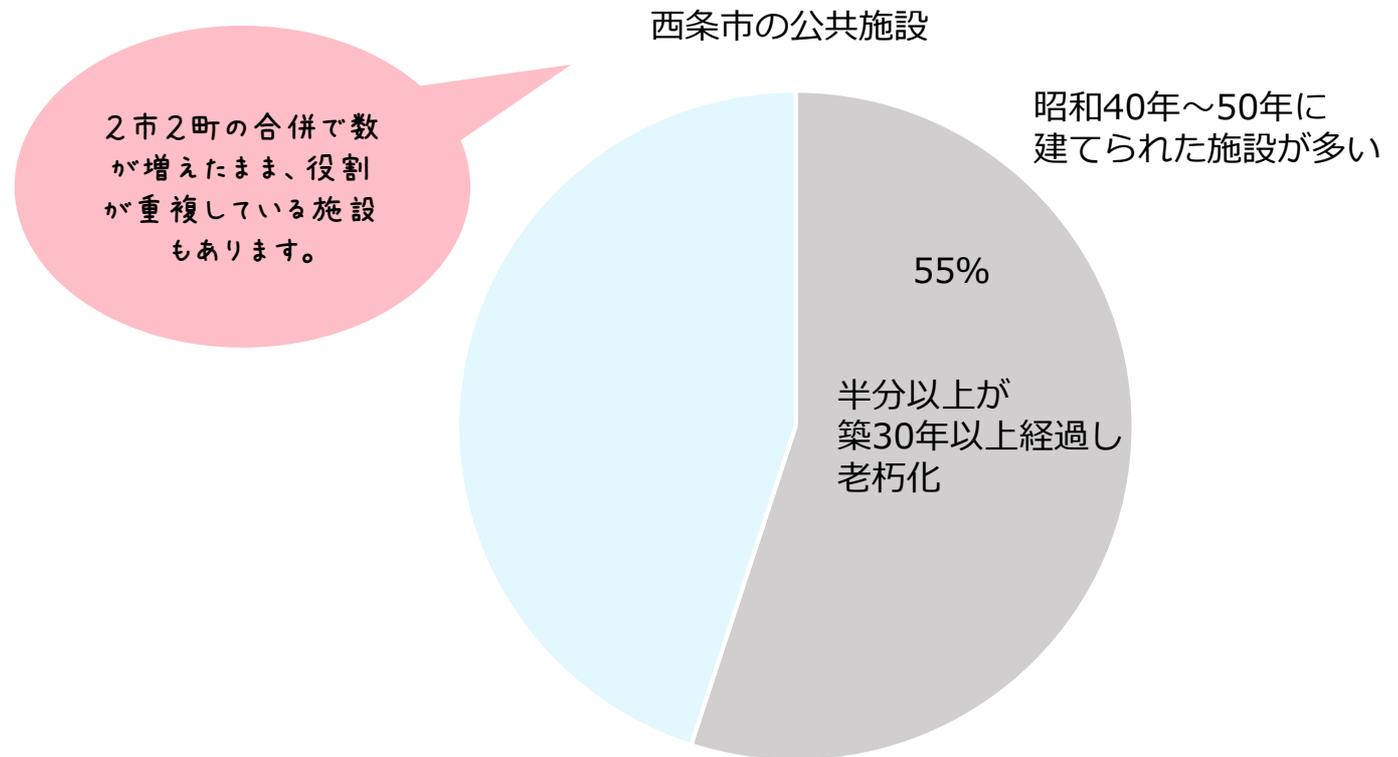
物価・エネルギー価格の高騰
により、電気代や燃料費、物
品や資材価格などが上昇し
ているため、財政負担が増加
する見込みです。

入ってくるお金は増えないの
に、たくさんのお金が必要な
事業が予定されています。

8：公共施設の現状と今後控えている大規模事業について

老朽化した公共施設の更新・整備にお金がかかる

- ・「西条市公共施設等総合管理計画」（令和5年3月改訂）によると、西条市の**公共施設の量（延床面積）**は、**全国と同規模自治体の1.6倍**もあります。
- ・さらに築30年以上の建物が全体の55%を占めており、**老朽化**が進んでいます。



- ・さらに、「西条市公共施設等総合管理計画」によると、今後、公共施設を同じ数、同じ量で、すべてを建替えて維持する場合、40年間で2,327億円の財政負担が生じると推計されています。

普通建設事業費（土木費を除く）の過去10年間平均は**34.6億円**

公共施設の更新には、
今後40年（2017～2056年）で**2,327億円**

→年平均**58.2億円**必要

直近10年間の平均
34.6億円と比較して
1.7倍

平成29年策定時点

「公共施設マネジメント」に取り組み、公共施設を適正な規模に減らすことで、将来の負担を軽減・平準化していく必要があります。

これまで実施してきた大型の施設整備事業

項目	(2005)	(2006)	(2007)	(2008)	(2009)	(2010)	(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)		
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06		
庁舎整備									43.8億円													
ひうちクリーンセンター整備														38.5億円								
東部一般廃棄物最終処分場整備			21.3億円																			
道前クリーンセンター基幹改良																		62.2億円				
東予運動公園整備		20.3億円																				
新泉町団地整備												17.2億円										
西消防署庁舎建設	10.4億円																					
小中学校・幼稚園空調設備整備													15.9億円									
小中学校大規模改修等									59.6億円													
中学校屋内運動場等整備													25.0億円									
新図書館整備		31.5億円																				

普通建設事業費（※17）から、総事業費10億円以上の主な事業を抜粋しています。
継続中の事業は、令和6年度決算までを含みます。

（※17）普通建設事業費は4ページで説明しています。



庁舎整備



ひうちクリーンセンター整備



東部一般廃棄物
最終処分場整備



道前クリーンセンター
基幹改良



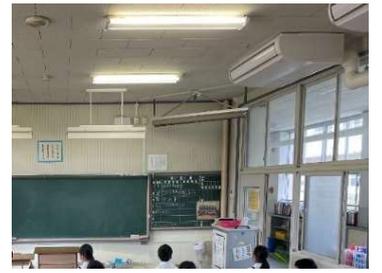
東予運動公園整備



新泉町団地整備



西消防署庁舎建設



小中学校・幼稚園
空調設備整備



飯岡小学校



神拝小学校



丹原小学校



大町小学校



小松小学校

小中学校大規模改修等



中学校屋内運動場等整備



西条北中学校



西条南中学校



新図書館整備

今後見込まれる大型の施設整備事業

項目	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)	(2031)	
	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13以降	
小中学校長寿命化				神戸小：約8.1億円								
小中学校施設躯体健全化				西条北中：約1.5億円								
				楠河小：約0.4億円								
				玉津小：約3.1億円								
				西条東中：約1.3億円								
				氷見小：約1.3億円								
				徳田小：約1.2億円								
				多賀小：約0.4億円								
				西条西中：約1.3億円								
神戸公民館建設事業					総事業費：約3.7億円							
(仮称) 小松認定こども園整備事業					総事業費：約4.5億円							
東部学校給食センター整備	R22年度まで 総事業費：約63億円（運営費を含む）											
火葬場（やすらぎ苑）改修更新			総事業費：約7億円									

※上記以外にも、本庁舎本館長寿命化改修や西部学校給食センター整備、次期ごみ処理施設整備などが見込まれています。



東部学校給食センター



やすらぎ苑



神戸小学校



(仮称) 小松認定こども園

公共施設を適正な規模にする公共施設マネジメントを推進しつつ、市民生活に必要な不可欠な施設の更新・整備も行っていく必要があります。

- ・合併特例債（事業費の95%まで借り入れができ、返済額の70%を国が負担する有利な財源）の発行期限が、令和6年度で終了となりました。
- ・西条市では、終了期間を見据え計画的に施設整備等を行ってきましたが、公共施設の老朽化等により、令和7年度以降も大型の施設整備事業が予定されています。

- ➡
- ・いずれの施設も事業費が大きく、**財源の確保が課題**です。
 - ・中長期的な視野に立って、事務事業の見直しを進めるとともに、使用料・手数料の更なる見直しや財産の運用・処分など、新たな財源の確保策を検討し、計画的に基金（貯金）として蓄えておくことが必要です。

9：持続可能な西条市を目指して

将来へ課題を先送りしないために、取り組んでいきます

- ・西条市はこれまでも、事業のスクラップ&ビルドの推進や、市主催イベントの見直し、総合支所の再編など、歳出改革を進める対策を行ってきましたが、今後も増加が見込まれる財政負担への対応が求められています。

人口減少により、一般財源（使い道を特定されない収入）の大幅な増加は見込み難い状況です。→p7,12

扶助費（福祉の充実のために使うお金）や市債の返済額、人件費の増加により、義務的経費（削減することが難しい支出）の割合が増加する見込みです。→p7

物価・エネルギー価格の高騰等により、光熱費や資材価格などが上昇しているため、財政負担が増加する見込みです。→p12

公共施設の老朽化等により、今後も、大型の施設整備事業が予定されています。→p13~15



将来へ課題を積み残さないために、
取り組むことは・・・

1,事業の選択と集中

- ・重要な事業を着実に実施していくために、事業の選択と集中に取り組み、経費の削減に努めます。

2,公共施設マネジメントによる施設の適正配置

- ・多くの公共施設で老朽化が進み、更新時期を迎えています。しかし、今ある施設をすべて同じ形で残していくことはできません。なぜなら財政負担に加え、用途が重複する公共施設も複数あるためです。
- ・将来の人口動態を見据えた公共施設のあり方や運営方法の見直しなどの公共施設マネジメントをさらに推進することで、施設の適正配置などを進めます。

3,財源の確保

- ・使用料や手数料の見直しを行ったり、計画的に基金を積み立てるなど、大規模事業に向けた財源の確保を検討していきます。

【参考】新市建設計画の期間が満了しました

- ・新市建設計画(※18)（合併後の新市を建設していくための基本方針）で令和6年度までの財政計画を定め、**財政計画をローリング方式（毎年見直すこと）**により決算状況を受けて修正を行い、進捗を確認しながら事業の推進に活用してきました。
- ・令和6年度で新市建設計画の期間が満了しましたので、下記のとおりまとめました。

＜歳入 実績＞

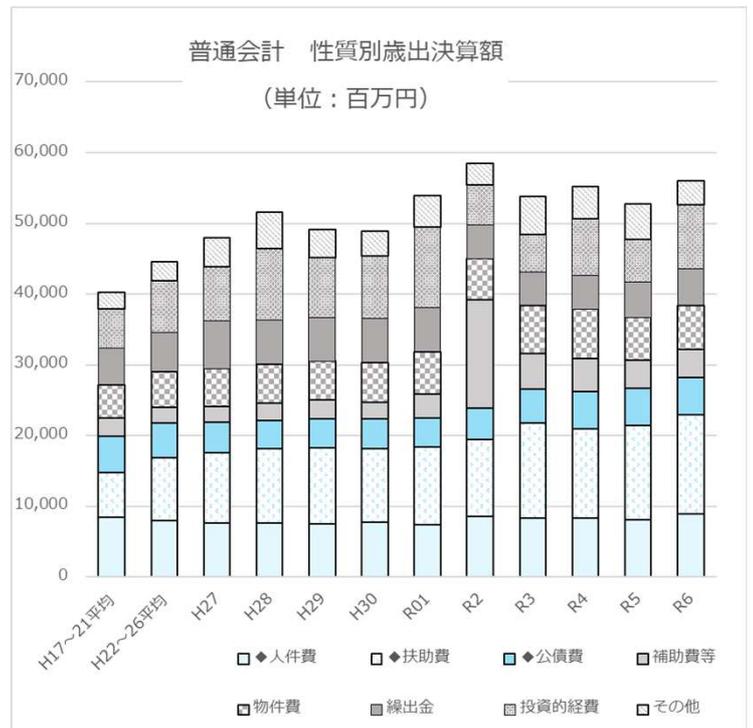
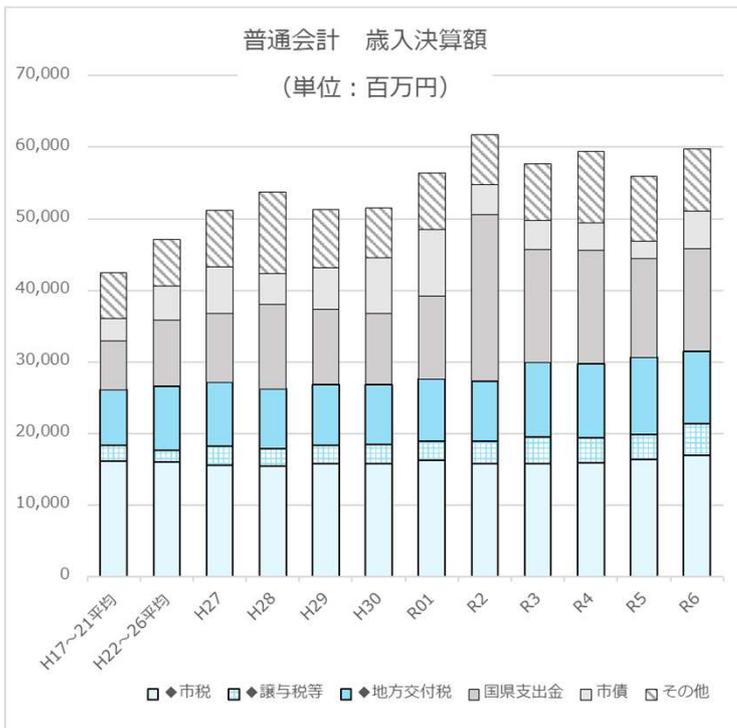
(単位：百万円)

区分	H17～21平均	H22～26平均	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
◆市税	16,117	15,988	15,512	15,429	15,801	15,777	16,212	15,796	15,834	15,894	16,328	16,960
◆譲与税等	2,240	1,699	2,705	2,418	2,564	2,636	2,677	3,086	3,635	3,524	3,576	4,410
◆地方交付税	7,720	8,944	8,952	8,367	8,493	8,409	8,732	8,461	10,489	10,348	10,740	10,154
国県支出金	6,809	9,153	9,560	11,786	10,457	9,948	11,634	23,200	15,795	15,828	13,831	14,310
市債	3,217	4,764	6,501	4,329	5,852	7,825	9,199	4,182	4,022	3,830	2,421	5,240
その他	6,388	6,574	7,953	11,412	8,080	6,909	7,908	7,006	7,887	10,023	9,071	8,640
計	42,491	47,122	51,183	53,741	51,247	51,504	56,362	61,731	57,662	59,447	55,967	59,714
◆主要な一般財源計	26,077	26,631	27,169	26,214	26,858	26,822	27,621	27,343	29,958	29,766	30,644	31,524

＜歳出・性質別 実績＞

(単位：百万円)

区分	H17～21平均	H22～26平均	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
◆人件費	8,446	7,959	7,656	7,589	7,470	7,752	7,384	8,506	8,294	8,268	8,105	8,965
◆扶助費	6,297	8,916	9,923	10,574	10,784	10,436	10,977	10,916	13,492	12,721	13,331	13,980
◆公債費	5,124	4,918	4,310	4,013	4,050	4,136	4,126	4,418	4,780	5,206	5,238	5,195
補助費等	2,608	2,202	2,273	2,423	2,692	2,406	3,332	15,330	5,063	4,657	3,945	3,993
物件費	4,688	5,024	5,306	5,506	5,513	5,615	6,035	5,834	6,754	7,002	6,070	6,252
繰出金	5,213	5,532	6,729	6,244	6,139	6,269	6,258	4,822	4,777	4,764	4,959	5,136
投資的経費	5,473	7,290	7,630	10,143	8,479	8,762	11,378	5,574	5,217	8,037	6,104	9,067
その他	2,380	2,711	4,110	5,115	4,007	3,559	4,446	3,097	5,445	4,598	5,047	3,439
計	40,229	44,552	47,937	51,607	49,134	48,935	53,936	58,497	53,822	55,253	52,799	56,027
◆義務的経費計	19,867	21,793	21,889	22,176	22,304	22,324	22,487	23,840	26,566	26,195	26,674	28,140



(※18) 新市建設計画は平成16年1月に制定し、平成26年12月に改定、令和元年12月に再改定しています。